

重点目標一覧表（中間報告調書）

| | |
|-------|-----|
| 担当部局名 | 環境部 |
|-------|-----|

【令和5年度重点目標】

| 重点目標 資源循環型施設の早期建設に向けた取組の推進 | | |
|---|--|---|
| 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
| 1 ① 資源循環型施設建設計画の推進 (1) 上田地域広域連合と連携した施設整備の推進 (2) 上田地域広域連合及び市の財源計画策定の推進 ② 地域のまちづくりに向けた資源循環型施設建設推進庁内プロジェクトの推進 (1) 周辺整備に向けた取組の推進 (2) 地元要望に関する庁内調整の開始 (3) 周辺道路（搬入道路）整備に向けた取組の推進 | ① (1) 環境影響評価現地調査完了（9月） 環境影響評価準備書手続開始（9月） 施設基本計画の説明会（9月、計5回） (2) 庁内及び構成市町村との協議（年度内） ② (1) 整備基本方針の説明会（9月、計5回） 住民ニーズ把握のワークショップ（年度内、複数回） (2) 要望の整理（年度内） 方針策定に向けた調整（年度内） (3) 千曲川河川事務所との協議（年度内） 予備設計業務の完了（年度内） | ① (1) ・環境影響評価現地調査が9月に完了 ・環境影響評価準備書に着手 ・7月に地元自治会及び上田圏域全体での住民説明会を合計5回開催 (2) ・施設基本計画における概算事業費の財政シミュレーションを作成し、関係市町村廃棄物担当課長会議で協議 ② (1) ・7月に地元自治会及び上田圏域全体での住民説明会を合計5回開催 ・地元ワークショップの開催に向けた調整を開始 (2) ・地元要望に関する協議開始に向けて、協議の進め方を整備協議会で確認 (3) ・千曲川河川事務所との協議を複数回実施 ・道路予備設計業務に着手 |
| 重点目標 ゼロカーボンシティの推進 | | |
| 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
| 2 ① 市民・事業者に対する地球温暖化防止対策の推進 (1) 上田市地球温暖化対策地域推進計画に基づき再生可能エネルギー利活用の推進（上田市地球温暖化対策設備設置費補助金による温暖化対策設備の導入促進） ② 公共施設における地球温暖化防止対策の推進 (1) エコオフィスうえだ（第四次上田市役所地球温暖化防止実行計画）の推進 (2) エコオフィス（第五次上田市役所地球温暖化防止実行計画）の策定 ③ 地域脱炭素移行・再エネ推進事業 (1) 国への「脱炭素先行地域」の応募に向けた検討 (2) 国への「重点対策加速化事業」の応募に向けた検討 ④ 市民・事業者向け地球温暖化対策への意識醸成 (1) 上田市ゼロカーボンシティ（ZCC）実現市民会議の発足及び関係者・関係団体等との情報交換 (2) 広報うえだ等の活用、講演会、出前講座の開催等による、ゼロカーボン推進の情報発信、啓発、意識醸成 | ① (1) 補助件数 ・太陽光発電 300件 1,950kW ・太陽熱利用システム 20件 ② (1) 温室効果ガスの削減 2013年度比△9.3% (2) 政府実行計画（R3.10改定）に準じた計画として年度内に策定 ③ (1) 昨年のZCC推進本部で選定した候補エリアの具現性に向けた協議を進め申請に向けた検討 (2) 当事業の活用による地域に役立ち利益をもたらす具体的な脱炭素化事業の検討 ④ (1) 準備会を開催（6月頃まで） 本会を開催（上半期） (2) 広報うえだ（6月、10月） 出前講座（随時） | ① (1) 補助件数 ・太陽光発電システム 231件（77,165.2kW（84.9%）） ・太陽熱利用シ 6件（30.0%） ② (1) 市の事業等により排出する温室効果ガス削減を推進するため次の事業を実施 ・市有施設再エネ（太陽光発電）導入等調査業務7月契約（R5.6月補正予算）年度内完了予定 ・東庁舎（ICT推進センター）改修事業でZEB化を検討（実施の方針） (2) 次期計画策定に向けて、調査を開始 ・市有施設照明LED化の改修状況調査、市有施設再エネ（太陽光発電）導入等調査 ③ (1) 脱炭素先行地域（第4回募集）に、計画提案書提出 ①8/28 計画提案書提出 ②9/6 環境省 事務局ヒアリング ③9/29 評価委員会ヒアリング ④10/17 環境省 事務局ヒアリング（追加） ⑤10/18 環境省 事務局担当課長ヒアリング（追加） ※選定結果公表は11月上旬以降（予定） (2) 国への「重点対策加速化事業」の応募に向けた検討を開始 ①R6年度要望額調査表を提出（7/26） ④ (1) 準備会の開催方法、参集範囲について、信大繊維学部 高橋教授（環境審議会委員・前会長）と検討開始 年内に準備会を開催、年度内に本会を開催予定とする (2) 広報うえだ（6月号）環境月間に合わせて、地域推進計画概要及び2050ゼロカーボンパッケージ（補助事業）記事掲載 出前講座 2回実施 |
| 重点目標 循環型社会の形成に向けたごみの減量・再資源化の推進 | | |
| 具体的な重点取組項目（箇条書き） | 期限・数値目標等 | 進捗状況・進捗度 |
| 3 ① ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 (1) 可燃ごみの減量 (2) 生ごみ減量施策の推進 (3) 事業系ごみの減量 ② 有機物（生ごみ）リサイクルシステムの構築 (1) 有機物リサイクル施設整備の事業推進 (2) 建設地周辺自治会との協議及び情報提供 (3) 有機物リサイクル推進会議の開催 ③ 下室賀最終処分場の適正管理及び今後の方針検討 (1) 老朽化に対応した計画的な修繕、維持管理 (2) 将来の跡地利用に向けた住民ニーズの把握 ④ プラスチックに係る資源循環の促進等に係る法律（プラスチック資源循環法）に関する対応策の検討 | ① (1) 前年度比△500 t（△1.5%） (2) 減量化機器補助 500台 （減量効果推計値△59 t） 段ボールコンポスト基材配布 880個 （減量効果推計値△26 t） (3) 事業系生ごみの減量 △100 t ② (1) R9年度供用開始に向けた事業推進 (2) 必要に応じた調整会議での協議 (3) 生ごみ分別収集の手法等の検討 ③ (1) 施設の適正な維持管理 (2) 地元自治会等との意見交換 ④ (1) 他自治体への実態調査 (2) 受託業者等への個別ヒアリング | ① (1) 可燃ごみ排出量 16,788 t（前年度同期比 △964 t [△5.4%]） (2) 減量化機器補助 224台（達成率：44.8%） 段ボールコンポスト基材配布 323個（達成率：36.7%） (3) 事業系生ごみの減量 △15 t（前年度同期比 +9 t 達成率：15%） 事業所訪問による実態調査と減量への協力依頼 4事業所 ② (1) JAとの受入牛ふん協議（5月）、建設予定地敷地内残置物撤去（7～8月） 既存廃豚舎解体（9月～） (2) 丸子地域協議会（4月）、調整会議（9月）、廃豚舎解体に向けた自治会回覧（9月） (3) 推進会議（5月）、袋の大きさ検討に向けた生ごみ排出量調査（8月、114世帯、回収率：87.7%） ③ (1) 浸出水の処理（上半期計1,018回、3,848 t）など適正管理を継続実施 (2) 跡地利用の協議に向けた現地視察を企画（10月実施） ④ (1) 必要に応じて随時情報収集 (2) 受託団体との懇談（9月）、団体構成業者へのヒアリングも順次実施予定 |